

～～第7694回～

日向山

～H27. 6. 13～

梅雨の晴れ間の甲斐駒を仰ぐ日向山を目指して、5:30に5名で磐田を出発した。今朝は濃い霧がかかり、昼間の晴天が期待できそうだ。順調に小淵沢インターを降り登り口の矢立岩へ9:45に着いた。すでに20数台の車があり人気の高さが伺える。晴れてきた新緑のなかを快適に登っていく。以前来たときは熊笹が高かったが、今日は小さくて低いのでさらに爽やかだ。10-8に雨量観測計があり頂上はじきだ。手前の3等三角点を触ってから、ひと足で突然展望が開けて山頂だ。花崗岩の風化した白いザレ場が広がっている。今回が三回目だが登山者が多いせいか、真白いザレ場が茶色に成りかかっていた。八ヶ岳も甲斐駒も恥ずかしいのか雲で頭を隠している。大勢の登山者のなかで昼食とした。木陰が丁度良い好天で、サントリー白州の屋根もくっきり見えた。ゆっくりと時間を過ごし周りの景色を楽しみ錦滝へと降りようとする、雲が上がり始め甲斐駒が次第に高く姿を見せだした。しばしシャッターチャンスを待つ…が残念だ。雁ヶ原の端から日向山山頂をみると花崗岩の塔と白いザレ場が素晴らしい。ここから錦滝までは急降下だ。岩や木の根が絡みハシゴもあるルートで、ここを登ってくる登山者は汗びっしょりである。錦滝から先は崩れかけた林道歩きだ。途中木々の間に甲斐駒が頂上まで顔を出した。ゲートがあり「これより先、通行禁止」の表示がかかっていた。H23年の台風で林道の崩壊の為とある。じきに登山口へ着いたがここにも同じ表示が小さく掛かっていた。見落として登ってしまったが、気を付けねばと心にとどめた。19:20無事磐田へ着く。

コースタイム:矢立岩 1000…山頂 1150-1305…錦滝 1405…矢立石 1500

磐田支部 末司



雁が原